

平成16年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成16年 2 月 4 日

上 場 会 社 名 全日本空輸株式会社

上場取引所 東大

コ ー ド 番 号 9202

本社所在都道府県 東京都

(U R L http : //www.ana.co.jp)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長 氏 名 大橋 洋治

問 合 せ 先 責 任 者 役 職 名 総 務 部 長 氏 名 相馬 一孝 T E L (03)6735-1001

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有
一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

平成15年3月期比 連結（新規）： - 社、（除外）： 7 社 持分法（新規）： 1 社、（除外）： 1 社

2 . 平成16年 3 月期第 3 四半期の業績概況（平成15年 4 月 1 日～平成15年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（注）百万円未満切捨て

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年 3 月期第 3 四半期	921,461 -	30,894 -	26,297 -	27,500 -
15年 3 月期第 3 四半期	- -	- -	- -	- -
（参考）15 年 3 月 期	1,215,909	2,597	17,236	28,256

（注）当連結会計年度より四半期業績の概況の開示を行っているため、前第 3 四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率
	百万円	百万円	%
16年 3 月期第 3 四半期	1,523,953	150,516	9.9
15年 3 月期第 3 四半期	-	-	-
（参考）15 年 3 月 期	1,442,573	121,954	8.5

（注）当連結会計年度より四半期業績の概況の開示を行っているため、前第 3 四半期については記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	現 金 及 び 現 金 同 等 物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年 3 月期第 3 四半期	57,347	63,216	37,277	189,281
15年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
（参考）15 年 3 月 期	85,952	52,478	63,364	158,121

（注）当連結会計年度より四半期業績の概況の開示を行っているため、前第 3 四半期については記載しておりません。

3 . 平成16年 3 月期の連結業績予想（平成15年 4 月 1 日～平成16年 3 月31日）

連結業績予想の見直しは現時点では行っておりません。

平成16年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

経営成績

当第 3 四半期の概況（平成15年 4 月 1 日～平成15年12月31日）

当第 3 四半期（9 ヶ月間）の連結売上高は、長引く景気低迷、期初におけるイラク戦争や S A R S（重症急性呼吸器症候群）の流行などの深刻な影響を受けたものの、その後下半期にかけて国際線旅客収入が回復基調に転じたことなどから、前年同期を0.5%下回る9,214億円となりました。利益面につきましては、コスト構造改革による費用削減を強力に推し進めたことにより、連結営業利益は308億円（前年同期比177億円の改善）、当期純利益は275億円（前年同期比417億円の改善）となりました。

事業別の業績の概況は以下のとおりです（なお、各事業における売上高はセグメント間内部売上高を含んでおります）。

【航空運送事業】

国内線旅客は、引き続き需要が低迷する中において、航空会社間や J R 新幹線との需要獲得競争が一層熾烈なものとなりました。7 月からの普通運賃値上げをはじめ各種運賃政策により、単価は前期の水準を上回るものの、旅客数は減少したため、売上高は前年同期に比べ39億円の減収となりました。

国際線旅客は、期初において S A R S の流行に起因する中国・アジア路線を中心とした路線の大幅な休止・減便等があったものの、第 2 四半期（3 ヶ月間）にビジネスクラス旅客数がほぼ前年同期並みの実績を確保したのに加え、第 3 四半期（3 ヶ月間）においては、旅行需要についても持ち直したことから、売上高は前年同期に比べ93億円の減収にとどまりました。

こうした状況の中で、上半期においては、国内線主要幹線の増便やダイヤの充実により競争力の向上をはかる一方で、中国・アジア路線を一時運休、減便するなど費用抑制に努め、S A R S の影響がほぼ終息した第 3 四半期は、中国線を増強するなど、通期にわたり需要の変化に対応した機動的な生産調整を適時実施しました。また、11月より羽田 - 札幌間深夜貨物定期便や羽田 - 金浦間チャーター便を設定するなど増収に向けた取り組みを行いました。

この結果、航空運送事業の売上高は前年同期に比べ22億円の減収にとどまり、費用抑制とコスト構造改革による費用削減効果により営業利益257億円を確保しました。

【旅行事業】

海外旅行は、上半期において S A R S 等により深刻な需要減退の影響を受けましたが、一方、国内旅行は、通期にわたり旺盛な需要と積極的な販売活動の結果、旅行事業の売上高は前年同期に比べ21億円の増収となり、営業利益16億円を確保しました。

【ホテル事業】

当第 3 四半期（9 ヶ月間）は39億円の減収となりましたが、これは主に前期に売却し連結除外した海外 2 ホテル分の減収によるものです。国内ホテル事業は、景気の長期低迷や S A R S による海外渡航者および外国人入国者の減少など、特に上半期において都市型ホテルを中心に減収要因となりましたが、下半期に入り宿泊・宴会部門では底打ちの兆しが見られ、結果、営業損失 1 億円となりました。

【その他の事業】

S A R S の影響による国際線利用者の減少に伴い、子会社の国際航空予約業務や、免税品販売等で減収となりましたが、不動産・ビル管理事業等が好調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ37億円の増収となり、営業利益29億円となりました。

財政状態

当第 3 四半期（9 ヶ月間）のフリー・キャッシュ・フローは58億円のマイナスとなりました。これは、営業キャッシュ・フローが573億円のプラスとなる一方、航空機を中心とした設備投資等により投資キャッシュ・フローが632億円のマイナスとなったことによります。また、財務活動では借入金を返済する一方で、借入や社債発行により資金を調達し、この結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ311億円増加しました。

これらの結果、バランスシートでは平成15年 3 月期と比較して、流動資産及び航空機を中心とした固定資産の増加によって総資産が813億円増加、有利子負債（借入金及び社債）は386億円増加、株主資本は285億円増加しています。

(1) 要約連結損益計算書

(単位 : 百万円)

科 目	平成15年度第 3 四半期			【ご参考】	
	累計 (9 ヶ月) 自平成15年 4 月 1 日 至平成15年12月31日	上半期 (6 ヶ月) 自平成15年 4 月 1 日 至平成15年 9 月30日	第 3 四半期 (3 ヶ月) 自平成15年10月 1 日 至平成15年12月31日	前年同期 (9 ヶ月) 自平成14年 4 月 1 日 至平成14年12月31日	増 減
・ 営業収入	921,461	608,341	313,120	926,418	4,957
・ 事業費	710,545	475,035	235,510	718,608	8,063
・ 販売費及び一般管理費	180,022	118,846	61,176	194,709	14,687
営 業 利 益	30,894	14,460	16,434	13,101	17,793
・ 営業外収益	29,874	24,552	5,322	32,238	2,364
1 . 受取利息	2,234	2,128	106	2,855	621
2 . その他	27,640	22,424	5,216	29,383	1,743
・ 営業外費用	34,471	24,702	9,769	46,385	11,914
1 . 支払利息	15,971	11,323	4,648	18,325	2,354
2 . その他	18,500	13,379	5,121	28,060	9,560
経 常 利 益	26,297	14,310	11,987	1,046	27,343
・ 特別利益	8,814	7,822	992	244	8,570
1 . 固定資産売却益	1,042	746	296	197	845
2 . 投資有価証券売却益	545	544	1	-	545
3 . 厚生年金基金代行部分返上益	6,094	6,094	-	-	6,094
4 . その他	1,133	438	695	47	1,086
・ 特別損失	1,478	1,099	379	31,243	29,765
1 . 固定資産売却損	355	276	79	548	193
2 . 固定資産除却損	169	109	60	421	252
3 . 関連事業売却損	-	-	-	22,890	22,890
4 . 関連事業整理損	-	-	-	3,800	3,800
5 . 貸倒引当金繰入額	137	137	-	599	462
6 . 特別退職金	197	136	61	549	352
7 . その他	620	441	179	2,436	1,816
税金等調整前当期純利益	33,633	21,033	12,600	32,045	65,678
法人税等	5,827	259	5,568	19,169	24,996
少数株主損益	306	204	102	1,341	1,035
当 期 純 利 益	27,500	20,570	6,930	14,217	41,717

(注) 前年同期 (9 ヶ月) は参考値として記載しております。なお、前第 3 四半期は持分法損益を計上しておりません。

(2) 要約連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

科 目	平成15年度 第 3 四半期 平成15年12月31日	平成14年度 平成15年 3 月31日	増 減	平成15年度 中間期 平成15年 9 月30日	増 減
【資産の部】					
流動資産	423,764	355,996	67,768	400,380	23,384
現預金及び有価証券	189,706	157,334	32,372	171,917	17,789
営業未収入金	96,805	94,435	2,370	99,864	3,059
たな卸資産	59,661	55,803	3,858	57,521	2,140
その他	77,592	48,424	29,168	71,078	6,514
固定資産	1,099,372	1,085,905	13,467	1,089,873	9,499
有形固定資産	866,362	851,044	15,318	858,070	8,292
無形固定資産	39,071	42,679	3,608	40,719	1,648
投資その他の資産	193,939	192,182	1,757	191,084	2,855
繰延資産	817	672	145	885	68
資 産 合 計	1,523,953	1,442,573	81,380	1,491,138	32,815
【負債の部】					
流動負債	348,584	317,938	30,646	346,822	1,762
支払手形及び営業未払金	126,658	126,911	253	117,431	9,227
短期借入金、一年以内に償還する社債 及び一年以内に返済する長期借入金	113,021	83,916	29,105	112,015	1,006
その他	108,905	107,111	1,794	117,376	8,471
固定負債	1,015,334	992,375	22,959	990,330	25,004
社債及び長期借入金	870,981	861,479	9,502	852,436	18,545
退職給付引当金	110,315	106,780	3,535	107,325	2,990
その他	34,038	24,116	9,922	30,569	3,469
負 債 合 計	1,363,918	1,310,313	53,605	1,337,152	26,766
少 数 株 主 持 分	9,519	10,306	787	9,476	43
【資本の部】					
資本金	86,242	86,239	3	86,239	3
資本剰余金	52,586	104,228	51,642	52,580	6
利益剰余金	11,490	67,388	78,878	4,691	6,799
その他の有価証券評価差額金	2,429	223	2,206	2,440	11
為替換算調整勘定	1,463	404	1,059	656	807
自己株式	768	944	176	784	16
資 本 合 計	150,516	121,954	28,562	144,510	6,006
負債、少数株主持分及び資本合計	1,523,953	1,442,573	81,380	1,491,138	32,815

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円)

科 目	平成15年度第 3 四半期			【ご参考】
	累計 (9 ヶ月) 自平成15年 4 月 1 日 至平成15年12月31日	上半期 (6 ヶ月) 自平成15年 4 月 1 日 至平成15年 9 月30日	第 3 四半期 (3 ヶ月) 自平成15年10月 1 日 至平成15年12月31日	前年同期 (9 ヶ月) 自平成14年 4 月 1 日 至平成14年12月31日
. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は損失 ()	33,633	21,033	12,600	32,045
減価償却費	47,672	31,318	16,354	45,441
その他	23,958	18,207	5,751	59,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,347	34,144	23,203	72,961
. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産取得による支出	103,611	75,657	27,954	88,131
有形固定資産売却による収入	44,918	40,861	4,057	72,148
無形固定資産取得による支出	5,666	3,587	2,079	10,805
その他	1,143	393	750	12,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,216	37,990	25,226	14,775
. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減 (減少 :)	964	2,465	3,429	21,378
長期借入による収入	31,286	30,967	319	66,727
長期借入返済による支出	58,191	44,048	14,143	84,687
社債発行による収入	69,814	29,823	39,991	29,843
その他	4,668	1,833	2,835	21,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,277	17,374	19,903	30,553
. 現金及び現金同等物の換算差額	248	181	67	1,326
. 現金及び現金同等物の増減額 (減少 :)	31,160	13,347	17,813	26,307
. 現金及び現金同等物の期首残高	158,121	158,121	171,468	188,648
. 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額	-	-	-	158
. 現金及び現金同等物の期末残高	189,281	171,468	189,281	215,113

(注) 前年同期 (9 ヶ月) は参考値として記載しております。

(4) セグメント情報

平成15年度第 3 四半期累計 (平成15年 4 月 1 日 ~ 平成15年12月31日)

(単位 : 百万円)

	航空運送事業	旅 行 事 業	ホ テ ル 事 業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する 売上高	687,934	112,398	42,601	78,528	921,461	-	921,461
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,740	13,431	10,240	54,521	144,932	(144,932)	-
計	754,674	125,829	52,841	133,049	1,066,393	(144,932)	921,461
営 業 費 用	728,921	124,160	52,952	130,067	1,036,100	(145,533)	890,567
営 業 利 益	25,753	1,669	111	2,982	30,293	601	30,894

平成15年度第 3 四半期 (平成15年10月 1 日 ~ 平成15年12月31日)

(単位 : 百万円)

	航空運送事業	旅 行 事 業	ホ テ ル 事 業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する 売上高	234,590	37,535	15,704	25,291	313,120	-	313,120
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,943	4,198	3,157	20,980	50,278	(50,278)	-
計	256,533	41,733	18,861	46,271	363,398	(50,278)	313,120
営 業 費 用	242,668	41,004	18,424	45,086	347,182	(50,496)	296,686
営 業 利 益	13,865	729	437	1,185	16,216	218	16,434

【ご参考】

平成14年度第 3 四半期累計 (平成14年 4 月 1 日 ~ 平成14年12月31日)

(単位 : 百万円)

	航空運送事業	旅 行 事 業	ホ テ ル 事 業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する 売上高	694,408	110,146	46,770	75,094	926,418	-	926,418
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,562	13,561	10,043	54,237	140,403	(140,403)	-
計	756,970	123,707	56,813	129,331	1,066,821	(140,403)	926,418
営 業 費 用	750,043	123,296	55,772	124,530	1,053,641	(140,324)	913,317
営 業 利 益	6,927	411	1,041	4,801	13,180	(79)	13,101

(注) 前第 3 四半期累計は参考値として記載しております。

(5) 航空運送事業の売上高の内訳及び輸送実績

【売上高の内訳】

(単位：百万円)

事業年度			平成15年度 第3 四半期累計 自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日	【ご参考】 平成14年度 第3 四半期累計 自 平成14年4月1日 至 平成14年12月31日	【ご参考】 増 減
区 分					
航空運送事業	国内線	旅 客 収 入	491,230	495,170	3,940
		貨 物 収 入	19,958	18,620	1,338
		郵 便 収 入	7,549	8,296	747
		手 荷 物 収 入	238	231	7
		小 計	518,975	522,317	3,342
	国際線	旅 客 収 入	133,304	142,625	9,321
		貨 物 収 入	32,566	30,431	2,135
		郵 便 収 入	2,411	2,319	92
		手 荷 物 収 入	439	439	0
		小 計	168,720	175,814	7,094
	航 空 事 業 収 入 合 計		687,695	698,131	10,436
	そ の 他 の 収 入		66,979	58,839	8,140
合 計		754,674	756,970	2,296	

(注) 1 . 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

2 . 前第3四半期累計は参考値として記載しております。

【輸送実績】

事業年度			平成15年度 第3四半期累計 自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日	平成14年度 第3四半期累計 自 平成14年4月1日 至 平成14年12月31日	前年同期比 (%)
区 分					
国内線	旅客数(人)		34,047,270	35,456,028	96.0
	座席キ口(千席キ口)		48,114,485	46,976,029	102.4
	旅客キ口(千人キ口)		29,453,061	30,281,903	97.3
	利用率(%)		61.2	64.5	3.2
	貨物輸送重量(トン)		314,880	285,776	110.2
	貨物輸送量(千トンキ口)		304,143	276,265	110.1
	郵便輸送重量(トン)		58,342	62,001	94.1
	郵便輸送量(千トンキ口)		62,130	64,811	95.9
国際線	旅客数(人)		2,408,716	2,852,478	84.4
	座席キ口(千席キ口)		18,440,737	19,648,671	93.9
	旅客キ口(千人キ口)		12,583,611	14,359,887	87.6
	利用率(%)		68.2	73.1	4.8
	貨物輸送重量(トン)		167,472	145,964	114.7
	貨物輸送量(千トンキ口)		791,801	744,049	106.4
	郵便輸送重量(トン)		10,129	8,445	119.9
	郵便輸送量(千トンキ口)		47,534	43,146	110.2

(注) 1 . 国内線 = 全日本空輸(株) + エアーニッポン(株) + エアー北海道(株) + (株)エアーニッポンネットワーク

2 . 国際線 = 全日本空輸(株) + エアーニッポン(株) + (株)エアージャパン

3 . 国内線、国際線ともにチャーター便を除いております。